

| | | | |
|---------|--------------------------------------|----------|-----------|
| 専門ゼミ A | | 演習 | 講師 菅谷 美沙都 |
| 科目カテゴリー | スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目 | 科目ナンバリング | 11130301 |

1. テーマ

現代社会におけるスポーツの文化的な価値を考える：スポーツマネジメント・スポーツ社会学的アプローチ
 キーワード：学校運動部活動，地域スポーツ，プロスポーツ，スポーツ施設，スポーツ政策

2. ゼミのねらい・概要

スポーツは現代社会において極めて重要な社会現象です。オリンピック，サッカーワールドカップ等から学校運動部活動まで，多くの人々がスポーツとの関わり（する・見る・支える）を持つようになりました。その関わりは，果たして人々の生活を豊かにするものなのでしょうか。多くの学生の皆さんは部活動に取り組んでいる（きた）と思いますが，部活動は誰のため，何のために実践しているのでしょうか。本ゼミでは，皆さんに身近な問題を取り上げ，現代社会におけるスポーツの社会文化的な価値についてスポーツ経営学・社会学的視点で分析・考察できるようになることを目指します。

専門ゼミ A では，スポーツ社会学の視点からスポーツの現代的課題に切り込んだ書籍を輪読し，スポーツを多様な視点から捉え，自ら問題提起ができる思考力を身につけます。

3. ゼミ計画

| | |
|---|-----------------------------|
| 1. オリエンテーション，顔合わせ | 9. テキスト輪読，発表，意見交換 2-①（第1章） |
| 2. ゼミ生全員によるフリーディスカッション | 10. テキスト輪読，発表，意見交換 2-②（第2章） |
| 3. テキスト輪読，発表，意見交換 1-①（部活の「グレイゾーン」を見える化する） | 11. テキスト輪読，発表，意見交換 2-③（第3章） |
| 4. テキスト輪読，発表，意見交換 1-②（自主的だから過熱する） | 12. テキスト輪読，発表，意見交換 2-④（第4章） |
| 5. テキスト輪読，発表，意見交換 1-③（自主的なのに強制される） | 13. テキスト輪読，発表，意見交換 2-⑤（第5章） |
| 6. テキスト輪読，発表，意見交換 1-④（強いられる「全員顧問」の苦しみ） | 14. テキスト輪読，発表，意見交換 2-⑥（第6章） |
| 7. テキスト輪読，発表，意見交換 1-⑤（教員の働き方改革） | 15. 前期のまとめ |
| 8. テキスト輪読，発表，意見交換 1-⑥（過剰な練習、事故、暴力） | |

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

テキストの該当箇所を熟読してゼミに臨むこと。発表時は，レジユメの作成及び発表の構成，企画等を行うこと。これらの自主学修には2時間以上が必要です。

スポーツニュースやスポーツに関する諸問題に興味を持ち，自らの意見や見解を考えること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

ゼミでの口頭発表の際，個別に講評（レジユメ作成のポイントや改善点等）をコメントします。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本ゼミでは，現代におけるスポーツ現象やスポーツに関する社会的問題に対して，スポーツ経営学及びスポーツ社会学の視点から理解し，自ら分析できるようになることを目的とします。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの積極的な発言（40%）、課題への取り組み方（30%）、学習意欲（30%）等を総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

テキスト：1. 内田良「ブラック部活動」 東洋館出版社，2017年
2. 島沢優子「スポーツ毒親」 文藝春秋，2022年

9. 受講上の留意事項

ゼミはゼミ生の皆さんでつくるものです。他者の意見に耳を傾け、皆が気軽に意見を言い合える環境をつくっていきましょう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本ゼミは競技スポーツ組織における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。